



プレス・リリース

Infosys Applied AI サービスの開始:

統合サービスを提供し、拡張性と将来性を備えた AI による変革を実現

バンガロール(インド) – 2020年11月10日: 次世代デジタル・サービスおよびコンサルティングの世界的リーダーである [インフォシス](#) (NYSE: INFY) は、本日、Infosys applied AI サービスを開始し、全社的な AI グレードの向上に向けた包括的アプローチおよびロードマップを導入する企業を支援する、と発表しました。Infosys applied AI は、AI、アナリティクスおよびクラウドの能力を融合し、新しい業務ソリューションと知覚的な体験を提供します。この統合サービスにより、リスクを管理しながら、企業全体の AI 投資の将来性を考慮し、効率的に拡張をすることが可能です。Infosys applied AI があれば、企業は applied AI cloud からサービスへのアクセス、導入、コンテキスト化を容易に実現できます。

本サービスは、運用モデルにレジリエンスを構築し、新しい日常（ノーマル）における新しい直感的顧客体験を提供するスマート・イノベーションを発見する際に役立ちます。

バリューチェーンにおいて導入準備の整ったソリューションを発見

Infosys applied AIを活用すれば、企業は企業全体に影響をもたらすAIの使い道を発見できます。すぐに使用可能な Infosys AIソリューションのポートフォリオは増大し続けており、特定のビジネス・ニーズに素早く適応できます。たとえば、米国のある銀行は、ソリューションのひとつを使用してNLPベースの経費請求管理モバイル・アプリを作成しました。また、Infosys applied AIは、企業がクラウド上のデータ・エステート、オープン・ソース・データおよびキュレートされたデータ交換から実用的なインサイトを明らかにし、新しいAIモデルおよびユースケースを構築する際に役立ちます。Infosys applied AIによって、企業は、スタートアップ企業から、インテリジェント・オートメーション、AIソリューション、データ・ソリューション、企業セキュリティなどの30を超える有数の事業者で構成されるインフォシス・パートナー・エコシステムまで、様々な企業の提供するサービスを統合し、AIリビング・ラボにおいてカスタム・ソリューションを作成することができます。

企業全体で AI の将来性を保証し、効率的に拡張

Infosys applied AIがあれば、企業はAIクラウドを構築し、ハイブリッド・クラウド・インフラストラクチャ上でサービスとしてのオープン・ソースAIソフトウェアにアクセスし、最先端のAI能力を利用できます。より多くの選択肢を提供し、将来性を見据えた投資を可能にするハイパースケール・クラウド事業者のサービスとの連携が可能です。たとえば、ある主要通信サービス事業者は、Infosys applied AIを通じて機械学習ワークベンチを作成し、データ・エンジニアが会社全体のリアルタイム業務ソリューションのカatalogを協力して実現し、提供できるようにしました。企業はさらに必要性を満たすために、広範なコグニティブ自動化サービスおよびプラットフォームも利用できます。

企業のリスク軽減AIで評判リスクを管理

企業は、AI標準開発に取り組んでいるインフォシスのコンソーシアムを信頼しています。Infosys applied AIによって、開発から導入、使用までの製品ライフサイクルのさまざまな段階にアナリティクス・モデル解釈性、偏り検出および継続的パフォーマンス監視が組み込まれます。たとえば、機械製造業者は、偏りを排除するためにInfosys applied AIを使用してデータセットとプロセスの保証請求パターンを分析した後で、請求承認プロセスをリエンジニアリングし自動化しました。

インフォシスのプレジデント Ravi Kumar S は次のように述べています。「今日、デジタル化促進を求める企業にとってAIは不可欠です。データ、クラウドそしてAIの組み合わせは、企業のデジタル構想に起源が異なる競争上の優位性を提供し、企業がエコシステム全体で新しい可能性を掘り出すのに役立っています。Infosys applied AIは、Infosys Cobaltによるクラウドへの投資と併せて、企業がデータから価値を十分に引き出し、知覚的エクスペリエンスと差別化サービスを提供する新アプリケーションを発見できるように支援します。」

世界中の企業が Infosys applied AI サービスを活用

「私たちはパートナーのコンソーシアムを先導し、取引企業が業務取引および調達プロセスを効率化できるように、データ・アナリティクス、ブロックチェーン、モノのインターネットおよびAIのモデルが、熟練専門家のように需要、消費そして価格を正確に予測する方法を実証しました。情報は単純で直感的なダッシュボードで提示されるので、技術者でなくても簡単に理解できます。これまでの流れを変えるようなイノベーションの中心には、Infosys applied AI サービスがあります」と **Westpac Institutional Bank のディレクターであり、商品管理-貸付商品、サービスおよびトランスフォーメーションの責任者 Jane Cole 氏**は述べています。

「Citizens Financial Group は、顧客の成功のみが私たちの成功という理念の上に成り立っています。当行の住宅担保ポートフォリオは非常に勢いで増大しており、顧客に当行の対応サービスを信頼していただけるように懸命になっています。Infosys applied AI 機能を活用して、住宅担保情報抽出および監査プロセスをインテリジェントに自動化するために、インフォシスと提携しました。人による労力や再作業が大幅に削減されたので、新しい貸付ポートフォリオを迅速にオンボードし、顧客エクスペリエンスを向上することができます」と **Citizens Bank の住宅担保貸付部門 SVP の Robert J. Bush 氏**は述べています。

「ローラン・ギャロスで、ファンだけでなく、選手やコーチ、FFT ジャーナリストのためにもテニスの体験を再定義することができました。私たちのパートナーであるインフォシスの高度アナリティクスと applied AI は、インサイト志向の専門家視点で観戦する機会をもたらしており、最終的には世界の人々がテニスを楽しむ方法の再形成に役立つでしょう」と **フランス・テニス連盟 (FFT) デジタル責任者の Florian Le Moigne 氏**は述べています。



組織全体で AI を拡張するインフォシスのアプローチは、最先端のテクノロジーに関するものであると同時に、将来を見据えた人とプロセスに関するものでもあります。

インフォシスの AI および自動化サービスの責任者 Balakrishna D.R.は次のように述べています。「当社の顧客は、組織全体で AI を拡張することに関心があります。また、AI からより大きな価値を発見し、一般社員がそれを活用でき、アプリケーションのリスクを軽減して倫理的で、説明可能で、責任を持つことを望んでいます。顧客の AI に対する要望を実現できるように Infosys applied AI を提供いたします」

Infosys applied AI は、企業が顧客だけでなく従業員との信頼関係を構築できるように支援します。企業は、Infosys Wingspan デジタル・ラーニング・プラットフォームを導入して人と AI を組み合わせたワークフォースのために従業員を再訓練できます。さらに、ロー・コード開発プラットフォームを導入すれば、従業員が AI を活用できるようになります。これによって、雇用主は、従来の職場に AI がもたらす人材リスクをより適切に管理できます。

Infosys applied AI の概要は、こちらの動画をご覧ください。

https://www.youtube.com/watch?v=bw0NtKhwEDo&feature=emb_logo

Infosys applied AI の詳細は、こちらをご覧ください。 <https://www.infosys.com/appliedai/>

インフォシスについて

インフォシスは次世代デジタルサービスとコンサルティングのグローバルリーダーで、46 か国のお客様のデジタル変革を実現しています。ほぼ 40 年に渡り、グローバル企業のシステムと業務を管理してきた経験から、お客様のデジタル変革に専門的な支援を提供します。たとえば AI による変更実行の優先順位付けを利用して企業がデジタル化を実現できるようにします。また、前例のない業績レベルを提供し、お客様に喜んでいただけるように大規模なアジャイルデジタルで業務を支援します。当社の絶えず学習するという方針に基づいて、革新エコシステムのデジタル技術、専門知識、アイデアが構築、伝達され、継続的な改善が推進されています。

リンク先 <http://www.infosys.com> では、企業が次のステージに進むために、インフォシス (NYSE: INFY) がどのように支援できるのかをご紹介します。

セーフハーバー条項

本リリースに掲載されている報告書の一部は、1995 年私募証券訴訟改革法の「セーフハーバー」条項の適用を意図した当社の将来的な成長と今後の配当、財務的期待、当社の従業員、顧客およびステークホルダーへの COVID-19 の



影響を管理するための計画を予測するものであり、そこには多くのリスクや不確定要素が介在しているため、実績と大きく異なる場合があります。このようなリスクおよび不確定要素としては、COVID-19 に関連するリスクと不安定要素、その拡散を抑制するための政府およびその他の対策の効果、インド、米国、世界のその他の国々の景気低迷や不況に関連するリスク、政治、ビジネスおよび経済環境の変化、収益や外国為替相場の変動、当社の成長管理能力、費用効率に影響する可能性のある IT サービス分野における競争の激化、インドにおける人件費の高騰、高い技能をもつ専門的な人材を確保する当社の能力、固定価格・固定時間による契約における時間や経費の超過、顧客の集中化、出入国制限、業界セグメントの集中化、国際業務を管理する当社の能力、当社の主力分野であるテクノロジーの需要低下、通信ネットワークの崩壊あるいはシステムの故障、企業買収を成功させる当社の能力、当社サービス契約に対する損害賠償責任、戦略投資した企業の業績、政府援助の打ち切り、政治不安および地域紛争、インド国外での増資・企業買収に対する法的制限、当社知的所有権の不正使用、この業界に影響を与える経済情勢などが考えられます。将来の営業業績に影響すると考えられるその他リスクについては、2019 年会計年度年次報告書（Form 20-F）を含め、米国証券取引委員会へ提出された当社報告書に詳細に記載されています。これらの報告書は、www.sec.gov でご覧いただけます。当社は、米国証券取引委員会および株主への報告書内の情報を含め、書面または口頭で将来の展望を随時発表する場合がありますが、法律により義務付けられている場合を除き、随時発表する将来の展望について更新する義務を負わないものとします。

お問い合わせ先

マーケティング本部 本部長 安藤穰 jo_ando@infosys.com